

**目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

**【目標達成計画】**

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の労働衛生環境保護の観点から、職員は休憩室で食事を摂っている。また、食事中は入居者様の見守りに重点を置いていたため、一緒に食事を摂る場面は設定されていない。職員は朝食のみ入居者様と同じ食事を休憩室で摂っている。	事業所の方針として一緒に食事を摂ることは難しいが、行事や外食会の機会に同じ食事を楽しむ機会を増やしていく。また、栄養士との連携を図り、更に美味しい食事の提供に向けて改善していく。	行事や外食会の機会を増やすし、入居者様と職員が同じ食事を一緒に楽しめる機会を増やす。月1回の試食に加え、栄養士と献立会議を実施し、よりおいしい食事が提供できるようにする。	3ヶ月
2		年2回消防署立会いの下、避難訓練を実施しているが、自主訓練は実施していない。	どの職員も避難誘導がスムースに出来るようにする。	避難訓練と同様の設定で、全職員に避難誘導の仕方について周知を図る機会をつくる。また、避難訓練実施後に防災装置についての説明を行い、機器の使用が適切に使用出来るようにする。	6ヶ月
3		当ホームが自然に囲まれた地域にある反面、少し道を入れると畑や山林が多い事、また、利根沼田方面の抜け道として、施設脇の道路は交通量が多いことなどから、安全性を重視して玄関の施錠を行っている。	安全性を重視する観点から事業所の方針として施錠しない時間を持つことは難しいが、閉塞性を感じることなく施設での生活を送つて頂けるよう援助していく。	職員付添での散歩やドライブ・外出行事・外食会など、施設外に出かける機会を多く作り、閉塞性を感じることなく楽しく生活して頂けるように援助していく。	6ヶ月
4		介護計画の見直しは、状態の変化による随時の見直し以外は、6か月に1度である。	3か月に1度計画の見直しを行う。	次回作成より3か月に1度計画の見直しを行う。	3ヶ月
5		運営推進会議が前年は地震の為中止になったこともあり、年5回の実施だった。	今年度は年6回 実施する。	今年度は2か月に1回のペースで実施しており、今後もこのペースで行い、年6回実施する。	4ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。